

SDG s の概要について

■SDG s とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、本県、国も積極的に取り組んでいます。

日本の企業、NPO等の団体もSDG sの目標の達成を掲げて、様々な取組を実践しています。



■ビジターセンターとの関わり

ビジターセンターは、県民に丹沢大山国定公園及び神奈川県立丹沢大山自然公園の地形、動物、植物、歴史などの学習の場及び適正で安全な自然とのふれあい等に係る情報を提供することにより、県民の自然環境への理解に資するための施設です。

このため、主な機能・業務として自然教室の実施、博物展示、自然解説、自然や登山道の情報収集及び発信、自然に係わる団体等との連携や活動拠点、災害時や遭難発生時の活動拠点などがあります。

これらは、SDG sの目標4（教育）、目標13（気候変動）、目標15（陸上資源）、目標17（実施手段）に深く関わっていると考えています。

■参考

外務省が企業、団体等の取組事例を紹介しておりますので、そちらもご参照ください。
 〈外務省 HP： <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/index.html>〉